

## 重点施策12 文化振興事業の充実

### 【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展・歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育み、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及を図る。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

##### □文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ メセナ八幡浜との共催による美術展の実施
- ④ 八幡浜市民大学の開催
- ⑤ 八幡浜市郷土史企画展「河崎蘭香展」の開催

##### □文化会館事業

- ⑥ 文化会館管理・運営
- ⑦ 自主文化事業の開催
- ⑧ 企画プロデュース事業への助成
- ⑨ カルチャー教室・ロビー展の開催

##### □市民会館事業

- ⑩ 市民会館の管理運営

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### □文化・芸術事業の振興

##### ① 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画、）版画、書道、写真、陶芸等の各分野から特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会賞、推奨等の表彰を行い、作品作成の励みとなるようにしている。観覧料は無料である。観覧者 1,951 人（八幡浜市美術展委託料）397 千円

##### ② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心に、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）版画、書道、写真、陶芸等の作品を展示し、これも八幡浜市美術展と同じく無料で市民に鑑賞してもらっている。観覧者 1,100 人（県展八幡浜移動展委託料）174 千円

##### ③ メセナ八幡浜との共催による美術展の実施

メセナ八幡浜との共催による美術展については、前述した八幡浜市美術展、県展八幡浜移動展と趣旨の異なる方向から、主として国内外のレベルの高い作品を中心とし

た有料の絵画展を、八幡浜商工会議所と共催する形で、市民に提供している。ちなみに、ここ5年間は、ウィリアム・モリス展、現代日本画名作展、魯山人の宇宙展、海を想う～海に魅せられた画家たち～、カリブ海の詩情と芸術 ハイチ絵画展、を約1か月の会期で八幡浜市民図書館内の市民ギャラリーで開催し、毎回数千人単位の入場者がある。平成24年度は「日本近代洋画への道―山岡コレクションを中心に―」を開催した。観覧者2,368人

#### ④ 八幡浜市民大学の開催

内容的に多彩で、誰もが気楽に聞くことのできるような講師を選択し、廉価な入場料で広く市民に聴講してもらえるように努めている。平成24年度は、江川紹子氏をお招きして講演会を実施した。(八幡浜市民大学開催委託料616千円)

#### ⑤ 八幡浜郷土史企画展「河崎蘭香展」

八幡浜市が生誕地である、明治から大正にかけて活躍した日本画家河崎蘭香の生誕130年の記念すべき年に、市内・県内外に遺されている蘭香の作品や資料を市民に紹介する展覧会を開催した。蘭香の名を八幡浜から全国に向けて発信することが出来、市民の郷土愛の醸成につながった。入場者数1,924人

(八幡浜郷土史企画展費用 684千円)

### □文化会館事業

#### ⑦ 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育み創造を図るとともに、生涯学習の拠点として自主文化事業の他、貸館業務や企画プロデュース事業、カルチャー教室、ロビー展などを展開した。

#### ⑧ 自主文化事業の開催

市民の要望、ニーズに応じて歌謡曲から古典芸能といった幅広いジャンルから事業を選定、特に音楽ホールとしての機能を重視して整備した大ホール及び世界最高峰のピアノの配置を考慮し、クラシック系のコンサートも開催し、鑑賞型とともに創造型の文化事業を展開した。

#### ⑨ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業(映画会・講演会・コンサート等)の支援を行った。

#### ⑩ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座と整合を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、3講座をそれぞれ年間10回開講した。また、ロビー展では、作品発表の場として開放し「ミニ美術館」として活用し、地域の小さな文化を掘り起こし、広めるとともに、優れた作品や文化的資料を展示して鑑賞の場を提供した。

### □市民会館事業

#### ⑪ 市民会館の管理運営

市民会館の管理運営については、会館以来年数が経過し年々古くなっており、利用者は減少気味である。

### 【学識経験者意見】

1. メセナ八幡浜が今年度で解散すると聞いておりますので、今後の美術展について、次のことを検討していただきたい。
  - (1) 郷土出身の画家より寄贈していただき、市が保管している作品を市民ギャラリーに展示してはどうか。
  - (2) 宇都宮病院より寄贈していただいた絵画等を一般公開する企画展を実施してはどうか。
2. 郷土史企画展「風をとらえた人々」の様な郷土の人物に光を当てた企画展は、地味ではあるが、市民にとっては夢を与えられる内容の企画だと思います。ぜひ、継続していただきたい。
3. 市民会館は、ゆめみかんに比べて建物や設備が古く、大ホールの利用者は年々減少し、他の部屋に比べ、特に少ない様であるが、会議室や中ホールは年間利用者がいる。利用者がいるのであれば、使用料を安くして利用を促進してはどうか。

### 【自己評価】

- 1.メセナ八幡浜が今年度で解散するため、来年度からの美術展について、郷土出身の画家より寄贈していただき、市が保管している作品を市民ギャラリーに展示していくことを考えております。また、宇都宮病院より寄贈していただいた絵画等の一般公開（企画展）については専門的知識を持つ美術会などの関係者と協議したうえで実施の方向で検討したいと思っております。
- 2.今年度の「建築家松村正恒」をはじめ「河崎蘭香」「風をとらえた人々」など八幡浜の人物に光を当て毎年度実施している郷土史企画展は、先人の顕彰を通して市民に夢を与えられる内容を企画し、今後も継続していきたいと思っております。
- 3.ご提案のとおり、利用料金を安くすれば、市民会館の会議室や中ホールの利用促進につながることも期待できると考えられます。しかし、築40年以上経過している建物や設備の老朽化は著しく、これからも長期間にわたって会場を提供するには、安全面からも多額の改修費が必要となります。市民会館の今後については、休館等も含めて検討する必要があると思っております。